

令和7年度議員全体研修会視察研修報告書

- 1 目 的 姉妹都市である古河市及び加須市との絆をより一層深めるとともに、両市との連携をさらに深め、両市の議員間の交流を深める機会とする。
- 2 実施日 令和8年1月19日（月）から20日（火）
- 3 視察地 茨城県古河市
埼玉県加須市
- 4 視察内容 古河市「公共施設等総合管理計画の取り組みについて」
加須市「地域の歴史遺産や文化財について」
- 5 参加者 議 長 岡村 浩雅
副議長 加藤 誠一
議 員 落合千枝子
議 員 高瀬 一徳
議 員 吉田 雄次
議 員 大河原千晶
議 員 福田 克之
議 員 加藤 朋子
議 員 永井 孝叔
議 員 若見 孝信
議 員 石岡 祐二
議 員 渋井 康男
議 員 鈴木 恒充
議 員 角田 憲治
議 員 手塚 定
議 員 小堀 勇人
代表監査委員 江連 敏夫
事務局職員3名

茨城県古河市

1 古河市の概要

古河市は、茨城県の最西端、茨城・栃木・埼玉の県境に位置しており、江戸時代には城下町、日光街道の宿場町として栄え、今も多くの社寺と歴史的街並みが残る。かつては製糸業が発達し、現在は古河地区の商業、総和地区の工業、三和地区の農業とそれぞれの特徴を持っている。

人口 140,499人 面積 123.58km²
議員定数 24人

2 視察内容

古河市では、昭和40年から50年代に古河市総和地区（旧総和町）に建設された「中央公民館」・「さくら公民館」・「ふれあい公民館」・「勤労青少年ホーム・働く女性の家（サークル館）」の4施設が、設備面も含め老朽化が著しく進んでいることから、「古河市公共施設適正配置基本計画」に基づき、この4施設を廃止・集約することとし、安全、安心で市民ニーズにあった「古河市総和地域交流センター」を建設した。

本施設は、「地域の魅力」・「地域文化の継承」・「新たな地域活力の創造」の3つの目的を持って建設を行い、①生きがいつくり②にぎわいつくり③地域づくりの3つを基本理念として位置付けた。

研修では、現地にて古河市総和地域交流センターの建設の経緯や整備の目的、施設概要の説明を受け施設見学を行い、その後質疑応答を行った。

3 所感

古河市公共施設適正配置基本計画に基づき、老朽化が進んだ公民館等の4施設を廃止・集約し庁舎敷地内に新しい交流センターが建設された。

施設内は、市民が生活に潤いや張りが感じられるよう、様々な活動が行える空間が数多く作られており、人と人との集いや出会いが多くなるよう、気軽に訪れやすい空間の演出がされており、「地域文化を形成できる」ような地域のランドマークとなる施設であった。また、建設するにあたり市民とワークショップを行うなど、利用者目線で設計を進めることは非常に有効であると感じた。特に、市民からの寝ころびながら本を読みたいとの意見から、児童図書コーナーの横に畳和室を2間続きで配置したのが印象に残った。

その他、公募による施設愛称やネーミングライツパートナーの募集、指定管理による運営体制等参考になった。

pickup!

1階平面図



2階平面図



部屋名	定員	使用料 (1時間)	面積
多目的ホール ^{※1}	230人	460円	236.85㎡
研修室(小)1	6人	160円	12.87㎡
研修室(小)2	6人	160円	12.95㎡
研修室1	39人	160円	51.04㎡
研修室2	39人	160円	51.04㎡
創作室	24人	180円	62.31㎡
和室1	10人	160円	22.58㎡
和室2	10人	160円	19.43㎡

※1：冷暖房を使用する場合、別途440円(1時間)がかかります。
 ※2：ピアノが常設された防音機能付きの部屋です。
 ※3：調理をしない場合の使用料は160円です。
 ※4：鏡張りのある部屋です(土足禁止)。
 ※5：ドラムセットを常設した完全防音の部屋です。ピアノを使用する活動は研修室4をご利用ください。

部屋名	定員	使用料 (1時間)	面積
研修室3	42人	160円	57.80㎡
研修室4 ^{※2}	18人	160円	26.40㎡
研修室5	33人	160円	38.81㎡
研修室6	8人	160円	28.92㎡
調理実習室 ^{※3}	16人	320円	50.68㎡
多目的室1 ^{※4}	24人	320円	65.16㎡
多目的室2 ^{※4}	30人	320円	70.88㎡
音楽室 ^{※5}	8人	260円	31.30㎡
自習室1	2人	160円	4.52㎡
自習室2	2人	160円	4.52㎡
自習室3	10人	無料	19.20㎡

各部屋の詳細はこちら



別紙-1

ふくろうの森プラザが3月1日にオープンします



■所在地
 下大野2248
 (市役所総和庁舎東側)

昨年6月から建設が始まったふくろうの森プラザ(総和地域交流センター)が3月1日にオープンします。市民の皆さんの交流や活動の拠点となり、新しいシンボルとしてにぎわいを創り出す施設となることを願っています。
 【問】 ☎社会教育施設課ℓ92-4501

施設の概要

■主な用途

部屋名	主な用途
多目的ホール	運動(卓球ほか)、講演会
研修室	会議、サークル活動
創作室	創作活動
和室	茶道、華道、書道
多目的室	運動(ダンスほか)、会議
調理実習室	調理、食事
音楽室	バンド、合奏

■その他のフリースペース

- 図書エリア
 吹き抜け構造の開放的な空間で読書が楽しめます。また図書エリア以外にも、施設各所に本棚が設置されています。
- 児童図書コーナー
 一般図書とは別に設けています。床暖房を備えていますので、靴を脱いでご利用ください。
- 交流サロン&フリースペース(地下階)
 休憩や飲食、談笑など自由に利用できます。交流サロンには冷水器等があります。
- ラーニングスペース
 会話をしながら学習や読書、作業ができます。

今後のスケジュール

12月下旬	施設完成
1月1日※	施設の予約開始
2月23日※	一般公開(10時-15時)
3月1日※	オープニングセレモニー(詳細は後日発表)
3月3日※	一般利用開始

施設の予約

1月1日※から受け付けを開始します。予約には公共施設予約システムへの事前登録が必要です。登録がお済みでない人は、早めに手続きをしてください。



登録はこちら

古河市総和地域交流センター



地域交流センター内部



地域交流センター正面入口

埼玉県加須市

1 加須市の概要

埼玉県東北部、関東平野のほぼ中央に位置し、北は群馬・栃木・茨城の3県に接する。江戸時代は利根川水運の発展により、中山道と日光街道を結ぶ宿場町、不動ヶ岡不動尊の門前町として栄えた。市域の約半分が農地でコメの産出額は県内一。

11の工業・流通団地があり、製造業では製造品出荷額に占める食料品や情報通信機器の比重が高く、倉庫業や運送業の従業者比率も高い。

人口 112,163人 面積 133.30 km²
議員定数 25人

2 視察内容

加須市にある郷土資料展示室（騎西城）は、騎西町の町政施行20周年を記念して、婦人の研修の場として昭和50年に、城下町騎西を象徴する建物として開館。市指定有形文化財十六間筋兜等の郷土史料を公開し、文化財の啓発をはかっている。

研修では、市長より市の概要の説明があり、市指定有形文化財「十六間筋兜」に関する説明を受け、質疑応答を行い、郷土資料展示室（騎西城）を見学した。

3 所感

騎西城をかたどった全館コンクリート3階で天守風に再現したユニークさがあり、歴史の臨場感が感じられ、兜の実物からは戦国武者の息吹を感じられる場所であった。郷土資料展示室は無料となっており、資料がコンパクトに展示され、歴史ファンに人気があり、3階からは市街や遠山が一望でき、晴天時には富士山や東京スカイツリーが見え、家族連れが気軽に立ち寄れる場所であると感じた。また、兜の精巧さと眺めとのギャップに新鮮さを感じた。



郷土資料展示室



十六間筋兜に関する説明



加須市議会議員の皆さまと加須市役所内